

提案事業名	こども対話カフェ(こども対象哲学カフェ)事業
提案者	対話カフェつむぎ(代表 山下 真実)
担当部署	教育相談室

1 事業の必要性

公共的な課題の解決や地域の活性化等について、現状を把握し、市民に必要とされている事業であるか。

- 意見 ・ ◎ 教育を双方向化する取組みといえ、先進的であり、重要
- ・ コロナ禍で不登校に関する相談が多くなったと聞いており、提案者の取り組みはまさに公共的な課題の解決に寄与されるものと考えます。
 - ・ 必要性は感じられます。
 - ・ 市民に必要とされている事業である。
 - ・ 不登校やひきこもりが対話能力の不足とすれば、その能力をつける手助けは必要である。
 - ・ こうした現況は把握しているが、今回のプレゼンでは事業の必要性や発展性は良く分からない。
 - ・ ○
 - ・ 生きづらさを感じている若年層にはある一定の居場所を作る必要はあると感じている。

2 公益性及び市民サービスの向上

不特定多数の市民の利益と、市民サービスの向上につながる事業であるか。

- 意見 ・ ◎ 人権教育、コミュニケーション教育により市の活性化につながる
- ・ 本事業は特定の対象としているが、取り組み自体は波及効果の高いものと捉えることができ、市民サービスの向上に寄与されるものと考えます。
 - ・ 市民サービスの向上につながると思う。
 - ・ 対象者が多数存在する以上、その悩みに応えることは、多数の市民の利益に結びつくと考える。
 - ・ 現況では、市民要望に適しているかは判断がつかない。
 - ・ 子供対象ではあるが、子ども達で話す機会が増えることは、とても良いと思う。
 - ・ 事業内容としては特定少数を対象としている事業と感じている。

3 具体性継続発展性

事業計画が実行可能な方法、スケジュールに基づいて作成された事業であるか。

- 意見
- - ・ 従来取り組んでいる内容であるため実行可能であると考えます。
 - ・ 作成されている。
 - ・ 実績もあり、提出スケジュールは妥当と考えます。
 - ・ 事業スケジュールには問題を感じない。
 -
 - ・ 実行可能と判断します。

その事業に継続性があり、自主的な活動による発展性があるか。

- 意見
- 次年度以降、ファシリテーターの育成もして欲しい
 - ・ 発展のために担い手側の養成にも視野を広げてもらいたいと考えますが、継続性は十分であると思います。
 - ・ 継続及び発展性はあると思う。
 - ・ 発展するためには、親に対する取組みを考えるとよい。
 - ・ 継続性がないと困ります。
 - ・ 自主的な活動としての発展性はあると感じる。
 -
 - ・ 参加者のレポートによるところが大きい継続性・発展性は低いと判断します。
 - ・ 定期的な開催が必要不可欠

4 適正な予算

事業内容に照らして、適正な予算の積算がされているか。

- 意見
- - ・ されているものと思います。
 - ・ 積算されている。
 - ・ 内部講師であり、適正と思います。
 - ・ 十分な予算とは感じない。外部講師等の起用が無いためと思う。
 -
 - ・ 予算は適正と判断します。

5 協働の必要性

事業目的達成のための、提案者と市の協働の必要性が明確になっているか。

- 意見
- - ・ 不登校、引きこもりがちの子どもが社会とつながるきっかけになることから市には積極的に効果的な広報活動の協力が必要であると思い、協働の必要性を感じます。
 - ・ 提案者と市の協働の必要性が明確になっている。
 - ・ 役割分担は出来ている。
 - ・ 十分とは思えない。
 -
 - ・ 協働の必要性は明確

6 役割分担

提案者と市との役割分担が明確で、相互の特性を活かしているか。

- 意見 ・ ○
- ・ 分担はされていましたが、まだ協働における双方の長所を活かした役割分担ができていないとまでは言えない気がします。
 - ・ 進みながら活かしていけると思う。
 - ・ 役割分担は出来ている。
 - ・ 市との連携が明確とは思えない。
 - ・ ○
 - ・ 役割分担は明確に示されているが、教育相談室の特性は活かしきれていないと感じる。

7 協働の効果

提案者と市が協働で取り組むことにより、質の高い市民サービスを提供することができ、他の地域や他者へ成果の広がりが期待できるか。

- 意見 ・ ○
- ・ ファシリテーターが増えれば、各学校でやった方がいい
 - ・ 担い手側の人材養成が可能であれば大いに期待できると思います。
 - ・ 広がりがすぐ期待できるかは難しい。
 - ・ 現場のニーズに詳しい部署との協働であり、支援を必要とするこどもに呼びかけることが出来ると考えます。
 - ・ 現況では人員や予算の面から難しいと思う。
 - ・ ○
 - ・ 期待できる
 - ・ 協働により、広く周知されることが重要

8 事業実施能力

提案者には、事業実施のために必要な体制等があり、市と効率よく連携を図ることができると認められるか。

- 意見 ・ ○
- ・ 仕組み自体はシンプルであるものの担い手の力量が問われる内容と感じます。中身に専念してもらうためにも担当課側から能動的な連携を図ってほしい。
 - ・ 専門性が必要。
 - ・ 実績があり、内部講師のスキルも高そうで、市と連携はうまくいけよう。
 - ・ 3名体制では十分と思えない。
 - ・ ○
 - ・ 認められる
 - ・ こまめに打ち合わせを行うべき

事業の実施に対する熱意があると認められるか。

- 意見 ・ ○
- ・ 十分に伝わりました。
 - ・ 人数がほしいと思える。
 - ・ プレゼンで熱意は伝わってきた。
 - ・ 十分に認められる。
 - ・ ○
 - ・ 認められる

意見・評価

- ・ ◎ 採用すべき 応援すべき

- ・ 担い手側に知識・質・力量など問われる取り組みであるものの、今後求められるコミュニティの在り方の一つになり得ると感じています。その場に居ること自体を認められる場は貴重な社会資源であり、一つの団体としての活躍はさることながら横展開していった欲しい取り組みと感じます。

- ・ スタッフ3名の詳しい経歴がわかりませんでした。
不登校・引きこもりは家族にとっては大変な事だと思う。そのような子供達の少しでも話し相手となり、理解ができる、そんな環境が出来るという事は良い事だと思います。
予算についてはわかりません。
一度だけのお話ではわからない事が多かったです。

- ・ 継続するためにもファシリテーターを充実する必要がある。また、本当に困っている不登校者や引きこもり者を対話カフェに来てもらうことが出来るのか、やや不安感がありますが、こどもはこれからの社会を支える宝物であり、この活動を継続・拡大していった欲しいです。

- ・ 実績が良く分からないのが現況である。
もう少し実践してから市との連携をしてはと思う。協働による成果を得られないなども問題があるのであれば、その点を強調してはと思う。
事業名称からも分かり辛い面がある。

- ・ 広報の仕方について質問したが、学校や教育委員会、市役所だった。ボランティアで体育館に行った時に、中学生達が、家に帰っていないとか、学校は全く行かない訳ではないけどつまらない、と言っていたが、そういう子達にこういったカフェの情報が届けば良い。また、学校で言われても、行ってみたいと思うのか？どうしたら良いのか分からないが、是非あの子たちもカフェに来てくれる様なPRを期待したい。
プレゼンの質疑でもあったが、哲学というのがどうも分からない。質問されても、ここでは説明は難しいとのことだった。哲学うんぬんで無くとも、有意義な事業であると思うが、説明できないというのが理解できなかった。

- ・ 誰も取り残さない社会の実現という社会目標を得る為には、ある特定のスティグマにある方を対象とした居場所の確保は必要であると思われる。その意味に於いてはこの事業は今後広がりを見せる可能性はあるとみているが、“こども”に特化させる事が本当に有効な手段なのかという点には疑問を感じます。全国的にも哲学カフェや当事者同士の対話カフェは多く行われているが小学生・中学生の子どもだけのものは少ないと思うので、主催者には是非とも頑張って頂きたいと思います。
協働事業として取り組むには少し弱い気はするが、今後の発展に期待して承認と評価します。

- ・ 想定以上の参加人数が集まったらどうするのか。グループ分けをしたりなど全員が参加できる仕組みにすべき。
小学校などにチラシを配布して、子供が自身の判断で参加する可能性は低い。必ずどこかで親の介入が考えられる。親に聞かれない悩みを持つ子供もいるだろう。そういう子供にはどのような対応をするのか。基本的に親の参加は認められるのか。